

## H21年度事業実績

### 人材育成と活用

#### ①景観・まちづくりコンダクター育成



##### 【目的】

景観・まちづくりの各活動への積極的な取り組みを推進するために、各地区・活動の中核となる人を育成する。  
本メニューの参加者は、景観・まちづくりを構成する、あらゆる要素を取りまとめ、調整する指揮者＝コンダクターとしての能力を養い、その役割を担う。

##### 【講座内容】

分野	参加者数	テーマ	講師	ねらい	【開催について】
	延べ 1,400				①開催場所は、アイネス・アートプラザ・県庁 各回150名程度募集
景観	5/15 第1回	150 色彩・形態・景観学の実践	東大教授 堀 繁 氏	景観とは何か？景観の実践知識と理論を元にした、論理的思考を学び、また景観の必要性を人に伝えるための説明力を学ぶ	<b>【受講対象】</b> ①各地区の活動の中心となる人(30名程度) (建築士会・NPO・協議会等) ②市町村職員(20名程度) ③その他希望する人(県職員含) ④聴講のみとして、会場中後部に、希望する人(150名程度・条件無し)  <b>【講座の内容(①～③の受講生)】</b> ※各回の終了後、まとめシート提出をおこなう。 ※講座最終回には、県の景観やまちづくりへの提案発表の場を設ける。 ※各回ともに、13:00～17:00の講義時間とする。  <b>【講座修了後】</b> ①県の景観・まちづくりコンダクター名簿に登録し、HP等で公表する。 ②各地区のワークショップのファシリテーターや、県内の景観計画策定作業部会等に優先的に参画する。
	6/29 第2回	190 景観とまちづくり	①建築家 青木茂 氏 ②ランドスケープデザイナー 団塚 栄喜 氏	景観構成の大きな要素づくりを担っている、建築家等から、これまでの実績や経験談を通して、景観の創出のポイントを学ぶ	
景観・まちづくりの実践	9/4 第3回	170 観光・地域振興 中活・空き店舗対策	(有)PMO 加藤氏	現場の最前線で行動している生の声を通して、観光、中活、空き店舗対策の成功例(失敗例)から、自分たちに必要なことを学ぶ	
	12/3、4 第4回	140 景観と実践(2日間)	東大教授 堀 繁 氏	景観の理論はどう実践へ結びつくのかを学ぶ。(1日目)まち歩き+意見交換 (2日目)講座	
	1/29 第5回	150 景観・まちづくりの原動力	株式会社 庵 梶浦 秀樹 氏	器としての景観やまちづくりから、身のある地域活動へ結びつけるための実践を学ぶ	
	2/22 第6回	230 景観・まちづくりの実践	東京大学教授 内藤 廣 氏	県内の景観への取り組みについて、仮のモデル地区での検討をおこない、提案力とリーダーとしての力をつける	
まとめ	3/4 第7回	100 おおいたらしい 景観・まちづくりとは	東大教授 堀 繁 氏	各受講生の中から、おおいたの景観・まちづくりに関する自由な提案をおこなってもらい、それを踏まえた講演を経て、各地区へ入りこむ。	

※上記に加え、県内の数地区において重点取り組みとして、まち歩き+公園を開催。(日田市、宇佐市、別府市で実施)

#### ②景観まちづくりフォーラム開催

第1回	8/7 13:00～17:00	250 原っぱと遊園地	①建築家 青木 淳 ②建築史家 五十嵐 太郎	大分の景観・まちづくりは・・・使い方・遊び方の決められた”遊園地”か、それとも、自分達で持ち寄り作り上げていく”原っぱ”か。	別府市 ビーコンプラザにて開催
-----	--------------------	-------------	---------------------------	--	-----------------

#### 【H21年度 成果・成果物】

##### ①景観・まちづくりコンダクター登録

受講生登録数	73名	構成:
最終登録認定数	36名	民間(地元協議会・NPO・業者・各活動団体・商工会議所・建築士等)55名、県職員10名、市町村職員7名

- ②受講生による提案書
- ③受講生間、受講生と講師間、受講生と行政のつながり
- ④景観やまちづくりへの取り組みの気運の高まり